

標十五句

松岡隆子選

数へ日を数へるやうに逝きにけり
あつさりとはあがる四温の昼の雨
青空の下歩ききて鶯替ふる
照り降りの照りまさりゆく冬至梅
雪国に生まれて老いてゆくもよし
春遠からじ浮く雲も川音も
大笑ひしても一人や七日粥
枯蘆の姿勢正しく枯れにけり
筑紫野の吹きつ晒しや冬木の芽
入院とふ避寒賜はる一週間
たゆたふといふありかたや春の川
日を溜めて枝の先まで冬木かな
新春の光のなかを電車来る
日向ぼこ唯ただ透けてをりにけり
病みてより外が眩しき室の花

唐木和世
川上昌子
濱地恵理子
平沢千恵子
室井千鶴子
高橋愛子
渡辺あつ子
田坂孝志
広渡詩乃
染谷晴子
菊池京子
醍醐喜美枝
菊池一枝
梶浦道成
珍田千代子